



世界農業遺産 にし阿波の傾斜地農耕システム

GIAHS
GLOBALLY IMPORTANT AGRICULTURAL HERITAGE SYSTEMS



世界農業遺産認定一周年記念シンポジウム ～にし阿波の未来を考える～

(徳島大学地域交流シンポジウム)

2019. **3/9** 土 13:00～ (受付: 12:30～)

会場: ザ・ディスティノガーデン

参加費: 無 料

12:30～ 受付

【第1部】

13:00～13:15 こあいさつ

13:15～13:25 世界農業遺産「にし阿波の傾斜地農耕システム」ロゴマークお披露目

13:25～13:40 『にし阿波 食と農の名人』認定式

13:40～14:00 基調講演①

清水 展 (日本文化人類学会長/関西大学 特別任用教授)

14:00～14:20 基調講演②

大和田 順子 (一般社団法人ロハス・ビジネス・アライアンス 共同代表)

【第2部】

14:30 ～16:00 地域の取組発表

16:00 ～16:20 講評、トークセッション

コーディネーター: 内藤 直樹

(徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 社会総合科学域 准教授)

ゲストスピーカー: 講演者全員

【主催】徳島剣山世界農業遺産推進協議会

【共催】徳島大学、科学研究費補助金 基盤研究 (A) 「応答の人類学」

世界農業遺産とは、世界的に重要かつ伝統的な農林水産業を営む地域（農林水産業システム）を、国際連合食糧農業機関（FAO）が認定する制度です。にし阿波地域で暮らす人びとは、傾斜地という厳しい環境で農業を営むために、様々な知恵や技術を培ってきました。また、こうした知恵や技術に支えられた土地利用によって、美しい農村景観や生物多様性を育んできました。2018年3月、徳島県にし阿波地域及び「にし阿波の傾斜地農耕システム」は、世界農業遺産に認定されました。2019年3月で認定一周年を迎えます。認定から1年間の地域の取り組みを紹介するとともに、農耕システムの将来について考えます。



アクセス

ザ・ディスティノガーデン

徳島県美馬市脇町大字脇町1334

【公共交通機関】JR徳島線 穴吹駅下車 タクシーで約10分

【車】・自動車道利用: 徳島自動車道 脇町IC下車後、約5分

・一般道利用: 国道192号沿い、穴吹橋を渡って約5分

お問い合わせ

徳島県美馬郡つるぎ町貞光字東浦1-3

徳島剣山世界農業遺産推進協議会 事務局 (つるぎ町役場 商工観光課内)

TEL: 0883-62-3111(代) FAX: 0883-62-4944

E-mail: syoukou@tsurugi-i-tokushima.jp

※当日午前、世界農業遺産スタディツアーも実施致します。

詳しくはこちら

<https://giahs-tokushima.jp/>



世界農業遺産認定一周年記念シンポジウム

～にし阿波の未来を考える～

(徳島大学地域交流シンポジウム)

2019. **3/9** 土 13:00～ (受付: 12:30～)

会場: ザ・ディスティノーガーデン

徳島県美馬市脇町大字脇町1334

参加費: 無料

古くは“ソラ”とよばれたにし阿波の山間部で暮らす人びとは、ときには斜度30度以上にもなる急傾斜地という厳しい環境で農業を営むために、驚くほど理にかなった工夫を凝らしてきました。地域の人々が培ってきた農業や土地利用にかかわるユニークな知識・技術・制度・価値観や信仰の体系は、この地域特有の美しい景観や多種多様な動植物を育ててきました。

2018年3月、徳島県にし阿波地域及び「にし阿波の傾斜地農耕システム」は、世界農業遺産に認定されました。2019年3月で認定一周年を迎えます。認定から1年間の地域の取り組みを紹介するとともに、農耕システムの将来について考えます。

【講演者】



清水 展

東京大学教養学部文化人類学卒、1987年「変化と持続 ピナトゥポ・アエタ社会における出来事の需要をめぐって」で東京大学社会学博士。2017年「草の根グローバリゼーション：世界遺産棚田村の文化実践と生活戦略」で日本学士院賞受賞。1998年よりフィリピン・北ルソン山地の先住民イフガオのハバオ村（350世帯・1,800人）をほぼ毎年訪れ、住民主導の植林と文化復興の運動、および日本からの支援に関する調査を続けている。

(日本文化人類学会 会長／関西大学 特別任用教授)



大和田順子

百貨店、シンクタンク、英国化粧品ブランド、環境コンサルティング会社等で20数年マーケティングの実務を経て2006年独立。2002年、日本にLOHAS（ロハス）を紹介。全国各地で世界農業遺産、有機農業や生物多様性、再生可能エネルギーを活かした交流人口の創出や“持続可能な地域づくり”プロジェクトに参画。

世界農業遺産等専門家会議委員（農林水産省）／地域力創造アドバイザー（総務省）立教大学21世紀社会デザイン研究科「サステナブル・コミュニティ論」、静岡文化芸術大学「食文化論」兼任講師

著書『アグリ・コミュニティビジネス』（学芸出版社）他

(一般社団法人ロハス・ビジネス・アライアンス 共同代表)

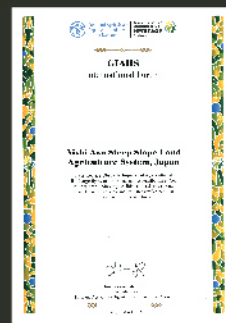
【コーディネーター】



内藤 直樹

京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究科博士課程修了。アフリカ乾燥地域における知恵・わざ・価値観等にそくした開発等の研究。専門分野は、文化人類学、生態人類学、地域研究。徳島剣山世界農業遺産推進協議会のアドバイザーも務める。

(徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 社会総合科学域 准教授)



世界農業遺産
GLOBALLY IMPORTANT AGRICULTURAL HERITAGE SYSTEMS
GIAHS